

## 請願書

### サンゴレンジャープラスの石垣市事業化について

2026年5月18日

石垣市議会議長 我喜屋 隆次 様

住所 沖縄県石垣市

沖縄県立八重山高等学校 connatures

氏名 代表 高原 真直

前原 心愛

宮城 浩碧

紹介議員

氏名 石垣 達也

氏名 花谷 史郎

## サンゴレンジャープラスの石垣市事業化について

石垣市の学生は、大学等への進学とともに市を離れることが多く、その前段階において自分自身が育った市の強みである自然環境、地域の成り立ちや、人との関わりを知ることは、将来、市とどのように関わるかを主体的に考える基盤となります。

しかし、学生にとって豊かな自然環境が身近にある一方で、人と自然環境や地域の関わりを主体的、継続的に「知り、考え、行動（発信）する」ような制度や枠組み、地域人材の育成も必要だと考えます。

そこで、市が行っているサンゴレンジャーに、学生が人と自然環境や地域の関わりを主体的、継続的に「知り、考え、行動（発信）する」枠組みである【サンゴレンジャープラス（案）】の事業化を提案し、その設置を請願します。

### 請願事項

1. 学生が主体であるサンゴレンジャープラスを市の事業、または、市の支援事業として制度設計をすること
2. サンゴレンジャープラスを全庁横断的に、地域とも連携を図りながら運営すること

以上

## 請願書に係る添付資料

請願件名：サンゴレンジャープラスの石垣市事業化について

2026年5月8日

石垣市議会議長 我喜屋 隆次 様

住所 沖縄県石垣市

沖縄県立八重山高等学校 connatures

氏名 代表 高原 真直

前原 心愛

宮城 浩碧

## ○サンゴレンジャーについて

---

石垣島と西表島の間広がる日本で最大規模のサンゴ礁域「石西礁湖」は、西表石垣国立公園に含まれる国際的にも重要なサンゴ礁生態系が育まれ、漁業や観光業などの地域経済を支える存在であり、多くの人が活動する場となり、サンゴ礁生態系は石垣市にとって様々な恩恵をもたらしています。

その石西礁湖が、赤土流出などの陸域からの環境負荷、高水温等による白化、オニヒトデの大量発生などによる攪乱を受け、大きく衰退している現状を認識し、次の世代へ伝えるために、これを保全し、持続可能な利用を進めていくため、全庁横断的な取り組みを推進していきます。

(石垣市 HP より)

<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kankyo/sizen/sangohozen/8837.html>

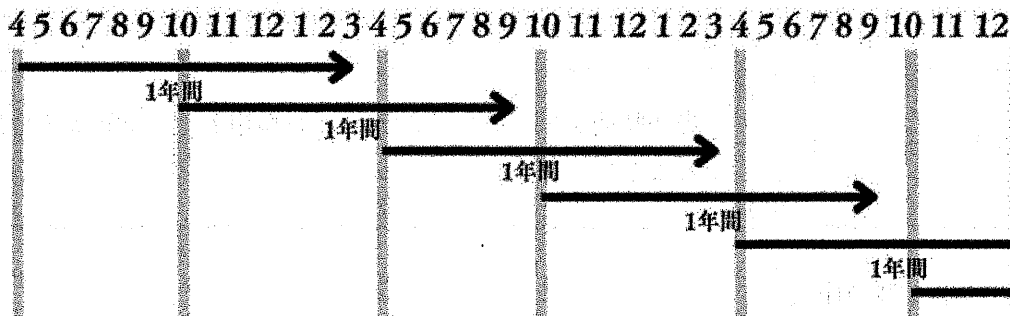
下記は例です。

## I 目的

1. サンゴレンジャープラスは、石垣市の「強み」である、自然環境と、人との関わりを考え、市の中高生が、実際に行動し、人と自然環境がともに共存できるような架け橋をつくり出すことを目的とします。
2. 魅力あふれる石垣市を作りながら、中高生が主体的に行動できる枠組みを提供します。
3. 今後も関わりたくなるような、持続可能な石垣市を目指します。

## II 実施体制

1. 定員：各期5名ほど
  2. 活動：2期が一緒に活動する（合計10名ほど）
  3. 任期：原則1年間
  4. 活動頻度：月4回程度（夏休み等での活動回数増加のあり）
  5. 募集：年2回、二段階選抜
    - ・募集の流れ
    - 6ヶ月前 募集開始/市内中学校・高校にポスター設置/公式LINE等を活用
    - 4ヶ月前 申し込み書類による第一段階選抜結果通知
    - 3ヶ月前 第二段階選抜
    - 2ヶ月前 最終合格者への通知
  6. 選抜：書類・面接等
- 4月から翌年3月の1年間、10月から翌年9月の1年間と活動期間を分配することで、引き継ぎの効率化や活動を途切れさせないようにします。



### Ⅲ サンゴレンジャープラスの活動

活動内容は主に3つあります。

#### 1. 「知る行動」

石垣市全体を活動の場として、市の自然環境が、地域の暮らしや観光、観光客、地域住民、事業者、行政などとの対話や調査通しどう関わっているのかを考えます。

自然との関係性を色々な視線から、考察します。

#### 2. 「実践（発信）する行動」

知る行動から計画し、実践（発信）する行動を行います。計画、実行、振り返り、改善の順に行います。

## 行動

計画
実行

振り返り
------

改善
----

## 例

話し合いで、「あなたにとっての自然とは？」をコンセプトとし、石垣市の自然の写真と自身の思いをつづる【石垣市自然フォト選手権】の開催を計画した。
「石垣市自然フォト選手権」の告知し、開催（運営）した。参加者に事後アンケートにも答えてもらった。

参加者に、人と自然の関わりを考えてもらうことができたが、告知が不十分だったので想定より参加者が少なかった。
---

告知時期を早い時期に設定し、石垣市公式LINE等の活用をすることにする。
--------------------------------------

#### 3. 「活動報告書の作成」

活動内容をまとめ、次回の参考や改善に繋がります。

## IV サンゴレンジャープラスの位置付け

---

サンゴレンジャープラスは、石垣市が取り組んでいる市全体が協力するサンゴレンジャーを基盤としながら、石垣市を運営主体とし、中高生の主体的な参画を担う部門として位置付けます。

サンゴレンジャーを土台としながら、市・地域・学生を結ぶように機能することを想定します。

## V 目標を数値で表すと

---

サンゴレンジャープラスの目標を数値で表すとこのようになります。

1. 参加状況の項目
  - ・参加学生数：各期5名以上
  - ・継続参加率：80%以上
  - ・活動報告書の提出：100%
2. 「知る活動」の項目
  - ・「知る活動」の実施回数：月1回以上
  - ・観光客、地域住民、事業者、行政等との対話機会：年4回以上
3. 「実践（発信）する行動」の項目
  - ・「実践（発信）する行動」の実施回数：各期1件以上
4. 学び・意識変化
  - ・「実践（発信）する行動」のイベント参加者
    - ① 「石垣市の自然を地域の強みとして理解できた」：70%以上
    - ② 「石垣市の魅力を他者に伝えたいと思った」：70%以上
  - ・サンゴレンジャープラスの参加者
    - ① 「石垣市の自然を地域の強みとして理解できた」：70%以上
    - ② 「石垣市の魅力を他者に伝えたいと思った」：70%以上
    - ③ 「今後も地域に関わりたいと思った」：70%以上

## V 事業概要

---

事業名：サンゴレンジャープラス

事業主体：石垣市

対象：市内中学生・高校生

事業形態：自然環境保全・経済保障・人材育成・地域参画・市民意識向上事業

## VI 利益・効果

---

- ・ 石垣市民憲章【一. 私たちは、美しい自然と郷土文化を守り育て「文化の町」「観光の町」づくりにはげみます。】の達成への1つになる
- ・ 学生が地域の課題等を自分ごととして考え、主体的に関わる機会をつくれる
- ・ 市、地域、学生などの関係の強化
- ・ 将来の地域人材の育成ができる
- ・ 「自然のまち石垣」とした地域的なブランドの向上が期待される